

1.合格講座 学習アドバイス

9月5日の合格講座（労働基準法）開講から4回目の講義ですが、山下クラスの授業にも慣れてきたと思います。まずは自己紹介です。山下とは誰？男性です。生まれは九州。年齢は加齢の真最中。家族からはリストラの一步手前。合格は平成5年。古い！！平成6年からこちらで講師を担当して28年目に入ります。信じられません。まだ気持ちは30代です（笑い）。経験だけは売るほどあります。質問、疑問は数えきれないくらい受けてきました。数多くの合格者を出してきた実績があります。

★私の役目は皆さんを初学者から受験生に育てることです。1年間という長い付き合いがはじまります。私の個人的な人生観もお話しするでしょう。この山下の厳つい顔と太い声には慣れが必要です。

★受験は戦ですから少し厳しい口調になることもあります。最初によく考えて山下クラスに入ってください。また、最初に承知していただきたいのは、この試験は簡単に合格できません。ある程度の時間の確保と合理的な勉強方法が必要です。時には鬼コーチになります。すべての講義で、皆さんを合格させることしか考えません。本日の皆さんはヤルゾ！！という気持ちのはずです。それを忘れないで下さい。皆さんと私は本日から一緒に1年間受験戦争に臨みます。

2 言葉の試験

まずは楽しく学びましょう。勉強は喜びです。知識を学び方法を知つことで、人生は大きく変わります。山下は冗談、雑談を沢山喋ります。興味を持って勉強すれば自然と知識も頭に定着します。勉強を進めていって最初に当たる壁は「用語」です。社労士試験は日本語の言葉の試験です。推定、みなし、認可、許可等。初学者はここで「？」です。私達が日常的に使っている日本語ですが、法律の世界では独特の意味になるものがあります。また、専門用語が各科目で洪水のごとく噴出してきます。どんどん出てきます。傷病手当（雇用保険）傷病手当金（健保）算定基礎期間（雇用保険）算定基礎届（健保）・・・もういや！助けて！（助けられません。）

3 勉強の進め方

保険科目には共通の学習方法があります。国民年金を学習するとその後の厚生年金、健康保険、労災保険で似たような内容が出てきます。保険科目は民間の保険と考え方は同じです。一般的な生命保険でも、誰がいくら保険料を払い、万一の事故の場合いくら給付金が出るかが保険ですね。基本的には公保険も同じですが、強制保険という点が民間と大きく異なります。

- 1.保険科目であれば誰（政府等の保険者）が行い、
- 2.何処（適用事業所）が届出を出すのか。

- 3.どんなとき（保険事故）に、
- 4.いくら位（給付内容）支給されるのか。
- 5.どんな場合は出さないのか（支給停止）。
- 6.保険料はいくらか（保険料）。
- 7.公費は入っているのか（国庫負担）。
- 8.いつ出してくれるのか（通則）。
- 9.いつまでに出してくれるのか（時効）
- 10文句があれば（不服申立）どうするのか。

保険科目には1～10の大きな流れがあります。

おおまかに流れと用語を掴めば全体が理解できます。暗記はその後から行います。

★初級クラスの方へ

- ・試験科目の配点を確認しましたか？年金科目の配点は？
- ・1年で合格するという意気込みがありますか？
- ・長期のスケジュールが組み立てられますか？
- ・仕事と勉強の両立は可能ですか？
- ・家族等の理解がありますか？

①心構え・・・受験生になりきること。試験に出る個所を勉強する

試験科目全体の法律の量は膨大です。本気にならないと合格できません。社会保険労務士試4 験で問われる内容は実に細かい。しかし、学者になってはダメ。難解な個所は無視します。過去問の繰り返しが本試験です。合格できるだけの知識を確実に身に付けましょう。これが短期合格の方法です。試験で問われているポイントに絞って勉強しましょう。

②相手を知る・・・過去問を徹底して解く

今年の本試験も分析すると過去問からたくさん出ています。山下クラスでは徹底して過去問を掲載します。

③合格への条件・・・自己管理能力

一番大事な「自己管理能力」です。今年絶対合格するという気持ちで学習しましょう。最初から全てを理解し、記憶する必要はありません。まずは、法律用語等に慣れることです。最初は繰り返しテキストを読むことから始めましょう。多少の疑問点があっても先に進むことです。受験勉強をする途中で受験生は立派に成長していきます。

④山下式に賭ける・・・弱気は禁止。絶対合格の4文字だけに！

時間が無い・業務が忙しい・年だから暗記が苦手・勉強の場所が無い・今年は練習・知識を学べれば十分・私には無理、等は禁句です。マイナスの発想はマイナスです。限られた時間を有効に活用して、短期合格を果たしているサラリーマン受験生は沢山います。受験は一種の戦いです。作戦をしっかり組立ててスケジュールを組み、毎日1時間でも継続して学習を行うことが大切です。

【山下のつぶやき・・・受講生と受験生との違い】

受講生・・・勉強してみるか。あるいは資格取れたらいいな。願望はあるが本気がまだ出ていない。講義中も受身の形。講義料分指導してね。わかるように教えてね。

受験生・・・なにがなんでも合格するという姿勢。わからなければ自分で調べたり、仲間に聞く。山下についていく。自分の時間を勉強に多く割く。